

N P O 法人

芸南たすけあい

第97号
21.1.15



『新年明けましておめでとう
ございます。』
NPO法人芸南たすけあい

ゆき こ

代表 島本幸子

コロナ禍一年近くを過ごし、今、新しい年を迎えました。

一人ひとり数々の教訓をいただいた年ではなかったでしょうか。

私たちNPO法人「芸南たすけあい」も25年の歳月を守られ、支えられて参りました。

創立の理念は

「すべての人が住み慣れた地域で一人の人間としての尊厳を保ち、それぞれの能力を生かして自立し、地域社会の一員として心豊かな生活が送れるよう、助け合う社会づくりに貢献します。」

助け合う社会とは、それは

隣人を愛する社会です。困った人があれば手を差し伸べる。―報いを求めるのではなく―。

「芸南たすけあい」は、1995年さわやか福祉財団の創設者堀田力氏の呼びかけに呼応して、有償のボランティア活動に賛同し、最低労賃による助け合い事業組織。

入会金2万円、78名の賛同者をいただいで発足しました。そして2000年に介護保険事業が生まれ、時代の要請に従って助け合い事業と共に今日まで続けて参りました。現在常勤者17名、パート勤務者67名、ボランティア提供者約20名、事

業所が呉と熊野に与えられ、小規模多機能施設として「ひばりヶ丘」においても活動を行っています。

世界中コロナの不安は続いています。今、まさにみんなで「助け合う」社会が望まれていると思います。

新しい年を迎え、心新たに皆さんと共に創立の理念に立ち返って歩みたいと願っています。若き日の努力は必ずや人生の終末に、多くのよき友が与えられ、実りをもたらすことを私達は信じ、証しつつ共に助け合いの活動を今年も歩ませて頂きましょう！

